

N2 Portal インストールガイド

N2SM, Inc.

平成 21 年 2 月 15 日

目次

第 1 章	N2 Portal インストールガイド	1
1.1	対象読者	1
1.2	お読みになる前に	1
1.3	オンラインでのアクセス	1
1.4	技術的なサポートの連絡先	1
1.5	関連サードパーティー Web サイトの参照	1
1.6	コメントおよび提案の送付方法	2
第 2 章	GUI によるインストール	3
2.1	GUI によるインストール	3
2.2	インストールの前に	3
第 3 章	GUI によるインストールの手順	5
3.1	N2Portal-[version]-installer.jar のダウンロード	5
3.2	インストーラの実行	5
3.3	ライセンスの確認	6
3.4	インストール方法の選択	6
3.5	インストール場所の選択	6
3.6	インストールするコンポーネントの確認	6
3.7	メールサーバーの指定	7
3.8	データベースの選択	7
3.9	インストール前の確認	7
3.10	インストールの実行	7
3.11	インストールの完了	8
第 4 章	GUI によるインストール時の DB 設定	13
4.1	データベースの選択	13
4.2	データベースのパラメータ設定	13
第 5 章	CLI によるインストール	15
5.1	Unix(Linux を含む) の OS 上における、CLI によるインストール	15
5.2	Windows の OS 上における、CLI によるインストール	15
5.3	インストールの前に	15
第 6 章	CLI によるインストールの手順	17
6.1	N2Portal-install-[version].jar のダウンロード	17
6.2	インストーラの実行	17
6.3	ライセンスの確認	17

6.4	インストール方法の選択	18
6.5	インストール場所の選択	18
6.6	インストールするコンポーネントの確認	19
6.7	メールサーバーの指定	19
6.8	データベースの選択	20
6.9	インストール前の確認	20
6.10	インストールの実行	21
6.11	インストールの完了	22
第 7 章	CLI によるインストール時の DB 設定	25
7.1	データベースの選択	25
7.2	データベースのパラメータ設定	25
7.3	設定パラメータの確認	26
第 8 章	N2 Portal の起動と停止の手順	27
8.1	N2 Collabo の DB 起動	27
8.2	N2 Portal の起動	27
8.3	N2 Portal の停止	27
第 9 章	Unix 系 OS でのアンインストール	29
9.1	アンインストール	29
第 10 章	Windows 系 OS でのアンインストール	31
10.1	アンインストール	31
第 11 章	GUI によるアップグレード	33
11.1	GUI によるアップグレードインストール	33
11.2	アップグレードインストールの前に	33
第 12 章	GUI によるアップグレードインストール手順	35
12.1	N2Portal-install-[version].jar のダウンロード	35
12.2	インストーラの実行	35
12.3	ライセンスの確認	36
12.4	インストール方法の選択	36
12.5	インストール場所の選択	36
12.6	インストールするコンポーネントの確認	36
12.7	インストール前の確認	37
12.8	インストールの実行	37
12.9	インストールの完了	37
第 13 章	CLI によるアップグレードインストール	41
13.1	Unix(Linux を含む) の OS 上における、CLI によるアップグレードインストール	41
13.2	Windows の OS 上における、CLI によるアップグレードインストール	41
13.3	アップグレードインストールの前に	41

第 14 章 GUI によるアップグレード インストール手順	43
14.1 N2Portal-[version]-installer.jar のダウンロード	43
14.2 インストーラの実行	43
14.3 ライセンスの確認	43
14.4 インストール方法の選択	44
14.5 インストール場所の選択	44
14.6 インストールするコンポーネントの確認	45
14.7 アップグレード前の確認	46
14.8 インストールの実行	46
14.9 インストールの完了	47
第 15 章 データベースの設定について MySQL	49
15.1 MySQL での設定	49

第1章 N2 Portal インストールガイド

1.1 対象読者

このドキュメントは、N2 Portal のインストール作業およびアンインストール作業を担当するユーザーを対象にしています。

1.2 お読みになる前に

このドキュメントでは、N2 Portal のインストール方法を示しています。コンピュータ操作の基礎的な知識が必要になります。

1.3 オンラインでのアクセス

ダウンロード、専門的サービス、サポート、その他の開発者情報については、次にアクセスしてください。

- N2SM Software: <http://software.n2sm.co.jp/ja/>

1.4 技術的なサポートの連絡先

本製品に関する技術的質問で、ドキュメント内に解決策が得られない場合は、次にアクセスしてください。

- N2 Portal プロフェッショナルサービス: support@n2sm.net

1.5 関連サードパーティー Web サイトの参照

N2SM, Inc. では、このドキュメントに記載されているサードパーティーの Web サイトの有効性については責任を持ちません。N2SM, Inc. はそのようなサイトやリソースを通じて、利用可能なコンテンツ、広告、製品、サービス、その他のドキュメントなどについて、保証、責任、義務を負いません。N2SM, Inc. はそのようなサイトやリソースと通じて、利用可能なコンテンツ、広告、製品、サービス、その他のドキュメントなどを、使用または信用したり、それに関連して発生または申し立てられた、一切の損傷や損害に対しては責任または義務を負いません。

1.6 コメントおよび提案の送付方法

N2SM, Inc. は、このドキュメントの改善に努めており、読者からのコメントおよび提案などを歓迎しています。

- N2 Portal サポートサービス: support@n2sm.net

第2章 GUIによるインストール

2.1 GUIによるインストール

N2 Portal は、Unix(Linux を含む) または Windows の OS 上でグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) によるインストールをサポートしています。この章では、GUI によるインストール手順について説明しています。GUI によるインストールを行うためには、Unix の場合は X Window システムが利用できる状態になっている必要があります。

2.2 インストールの前に

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーは、Java SDK(1.5.x以上)が必要になります。<http://java.sun.com/> にアクセスして、Java SDK を取得してください。Java SDK のインストール手順については、<http://java.sun.com/> にあるインストール手順にしたがってください。

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーを実行するためには、環境変数に JAVA_HOME が設定されている必要があるので、設定されていることを確認してください。Unix 系 OS で環境変数 JAVA_HOME を設定するためには、

```
例 (bash を利用の場合):  
$ export JAVA_HOME=/usr/java/jdk1.5.0_16/
```

を実行します。

第3章 GUI によるインストールの手順

3.1 N2Portal-[version]-installer.jar のダウンロード

<http://software.n2sm.co.jp/> から N2 Portal のインストーラー (jar ファイル) をダウンロードしてください。インストーラーのファイル名は、N2Portal-[version]-installer.jar になります ([version] は N2 Portal のバージョンです)。

3.2 インストーラーの実行

端末エミュレータ (Windows の場合は DOS 窓) 上で

```
(Unix 系 OS の場合)
$ java -jar N2Portal-[version]-installer.jar
(Windows の場合)
> java -jar N2Portal-[version]-installer.jar
```

を実行します (java コマンドが含まれるディレクトリは、環境変数 PATH で指定されている必要があります)。実行するとインストーラーが起動します。



図 3.1: インストーラーの起動

「次へ」ボタンをクリックします。

3.3 ライセンスの確認

ライセンスを確認します。

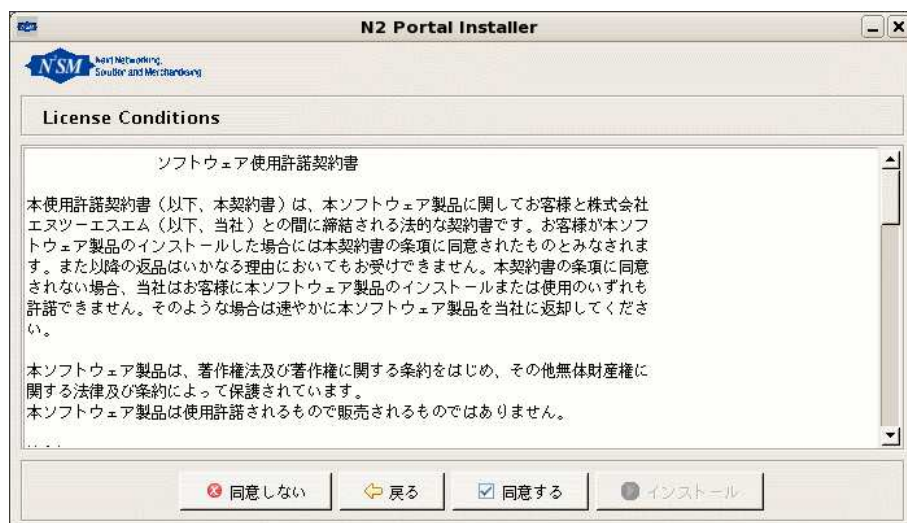


図 3.2: ライセンスの確認

ライセンスに同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。同意できない場合は、「同意しない」ボタンをクリックして、インストールを終了してください。

3.4 インストール方法の選択

インストール方法を選択します。新規にインストールする場合は「新規インストール」を選択します。アップグレードインストールする場合は「アップグレードインストール」を選択します。

「新規インストール」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

3.5 インストール場所の選択

インストールする場所を選択してください。テキストフィールド欄にインストールするパスを入力するか、「フォルダの選択」ボタンをクリックして、インストールする場所を指定します。

「次へ」ボタンをクリックします。

3.6 インストールするコンポーネントの確認

インストールされるコンポーネントの一覧が表示されます。

「Tomcat 5.5.27」を選択すると、N2 Portalが利用するための Tomcat がインストールされます。「Tomcat 用 N2 Portal 設定」を選択すると、Tomcat 用の設定ファイルがインストールされます。「メールサーバ設定」を選択すると、N2 Portal が利用するメールサーバの設定が行えます。コンポーネント選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

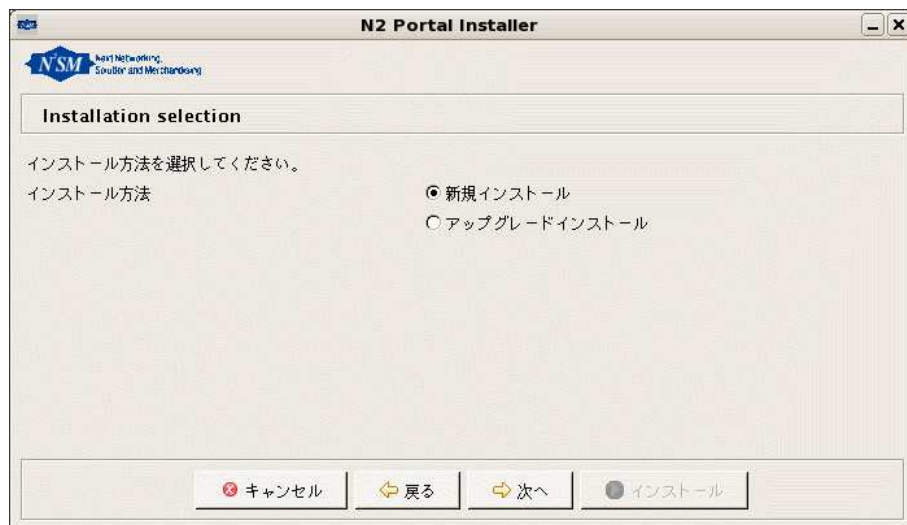


図 3.3: インストール方法の選択

3.7 メールサーバーの指定

N2 Portal で利用するメールサーバーを指定します。「メールサーバ名」テキストフィールドにメールサーバー名を指定します。メールサーバーがユーザー認証を利用している場合には、「ユーザ認証」チェックボックスを選択して、ユーザー名とパスワードを入力します。

「次へ」ボタンをクリックします。

3.8 データベースの選択

利用するデータベースを指定します。デフォルトの DB を利用する場合は、Derby を選択してください。Derby 以外のデータベースを利用する場合は、「GUI インストールの DB 設定」を参照してください。

「次へ」ボタンをクリックします。

3.9 インストール前の確認

インストールを実行する前に、インストール先のディレクトリを確認してください。指定されたディレクトリが削除されます。

「次へ」ボタンをクリックします。

3.10 インストールの実行

「インストール」ボタンをクリックするとインストールが実行されます。「詳細の表示」ボタンをクリックすると、インストール時のログを確認することができます。

「インストール」ボタンをクリックします。



図 3.4: インストール場所の選択

3.11 インストールの完了

インストールが完了すると、「完了しました。」というメッセージが表示されます。
インストールに失敗した場合は、ログでエラー内容を確認してください。
「終了」ボタンをインストーラーを終了します。

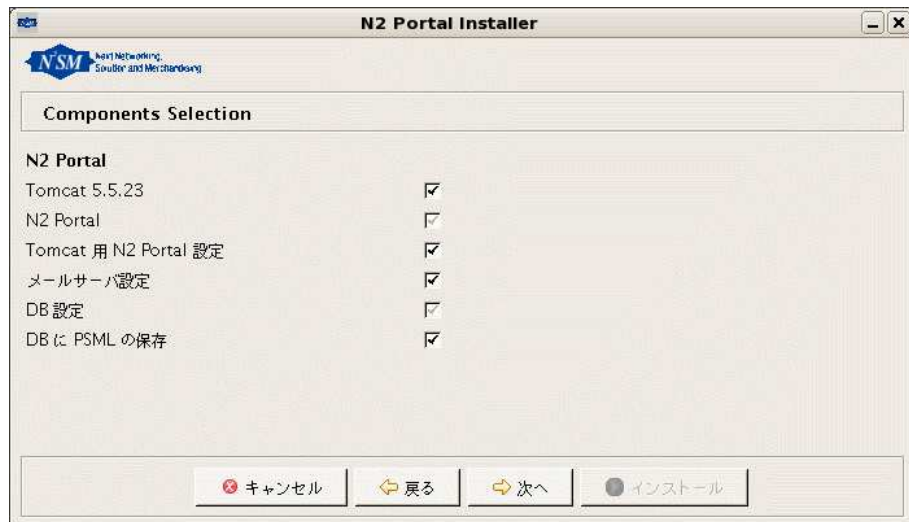


図 3.5: コンポーネントの選択



図 3.6: メールサーバの指定



図 3.7: データベースの選択



図 3.8: インストール前の確認



図 3.9: インストール画面



図 3.10: インストール中の画面



図 3.11: インストール完了のメッセージ



図 3.12: インストール完了

第4章 GUIによるインストール時のDB設定

4.1 データベースの選択

デフォルトの Derby 以外のデータベースを利用する場合は、GUIによるインストール手順の「データベースの選択」で利用したいデータベースを選択してください。利用するデータベースは、インストール前に環境構築されている必要があります。インストールプロセスの中で、データベース内にテーブルや必要な情報が挿入されます。



図 4.1: MySQL を選択

今回は、MySQL を例に進めていきますので、「MySQL」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

4.2 データベースのパラメータ設定

利用するデータベースのパラメータを設定します。

「次へ」ボタンをクリックしてください。設定が正しくない場合はエラーが表示されるので、再度、設定したパラメータを確認してください。データベースに正常に接続できた場合は、GUIによるインストール手順の「インストール前の確認」を参照してください。

第5章 CLI によるインストール

5.1 Unix(Linux を含む) の OS 上における、CLI によるインストール

N2 Portal は、Unix(Linux を含む) の OS 上でコマンドラインインターフェース (CLI) によるインストールをサポートしています。この章では、CLI によるインストール手順について説明しています。

5.2 Windows の OS 上における、CLI によるインストール

なお、Windows の OS 上でコマンドラインインターフェース (CLI) によるインストールはサポートしていません。グラフィカルユーザーインターフェースによるインストールをご利用ください。

5.3 インストールの前に

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーは、Java SDK(1.5.x 以上)が必要になります。<http://java.sun.com/> にアクセスして、Java SDK を取得してください。Java SDK のインストール手順については、<http://java.sun.com/> にあるインストール手順にしたがってください。

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーを実行するためには、環境変数に JAVA_HOME が設定されている必要があるので、設定されていることを確認してください。Unix 系 OS で環境変数 JAVA_HOME を設定するためには、

```
例 (bash を利用の場合):  
$ export JAVA_HOME=/usr/java/jdk1.5.0_16/
```

を実行します。

第6章 CLI によるインストールの手順

6.1 N2Portal-install-[version].jar のダウンロード

<http://software.n2sm.co.jp/> から N2 Portal のインストーラー (jar ファイル) をダウンロードしてください。インストーラーのファイル名は、N2Portal-[version]-installer.jar になります ([version] は N2 Portal のバージョンです)。

6.2 インストーラーの実行

コマンドライン上で

```
$ java -jar N2Portal-[version]-installer.jar
```

を実行します (java コマンドが含まれるディレクトリは、環境変数 PATH で指定されている必要があります)。実行するとインストーラーが起動します。

日本語以外の端末を利用している場合は、ロケールを設定を C または en_US.UTF-8 に変更してください。

```
-----  
Welcome to the N2 Portal  
-----
```

このインストーラで N2 Portal をセットアップします。

```
Press enter to view the license agreement
```

Enter キーを押下します。

6.3 ライセンスの確認

ライセンスを確認します。

```
-----  
License Conditions  
-----
```

```
                Apache License  
                Version 2.0, January 2004  
                http://www.apache.org/licenses/
```

```
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION
```

```
(中略)
```

```
Copyright 2004 The Apache Software Foundation
```

```
-----  
Do you accept the license? Y or N [default:Y]
```

ライセンスに同意する場合は、Enter キーを押下します。同意できない場合は、「N」を入力した上で Enter キーを押下して、インストールを終了してください。

6.4 インストール方法の選択

インストール方法を選択します。新規にインストールする場合は「新規インストール」を選択します。アップグレードインストールする場合は「アップグレードインストール」を選択します。

```
-----  
Installation selection  
-----
```

```
インストール方法を選択してください。
```

```
インストール方法
```

```
Enter a number
```

- 1) 新規インストール [default]
- 2) アップグレードインストール

「1」を入力して、Enter キーを押下してください。

6.5 インストール場所の選択

インストールする場所を選択してください。インストールするパスを入力して、インストールする場所を指定します。

```
-----
Installation Location
-----
```

```
インストール先のディレクトリを選択してください。 [default:/root/Portal]
/Portal/
```

```
ディレクトリを作成しますか?
```

```
/Portal
```

```
y
```

```
注意: WINDOWS では、スペースを含めないでください。
```

Enter キーを押下します。

6.6 インストールするコンポーネントの確認

インストールされるコンポーネントの一覧が表示されます。

```
-----
Components Selection
-----
```

```
N2 PORTAL
```

```
Install the following component?
```

```
Tomcat 5.5.27 [default:true]
```

```
Install the following component?
```

```
N2 Portal [default:true] [required]
```

```
Install the following component?
```

```
Tomcat 用 N2 Portal 設定 [default:true]
```

```
Install the following component?
```

```
メールサーバ設定 [default:true]
```

```
DB 設定 [default:true]required
```

```
DB に PSML の保存 [default:true]
```

各項目ごとに true もしくは false を入力し、Enter キーを押下して、コンポーネントを選択します。「Tomcat 5.5.27」の項目に true を入力すると、N2 Portal が利用するための Tomcat がインストールされます。「Tomcat 用 N2 Portal 設定」の項目に true を入力すると、Tomcat 用の設定ファイルがインストールされます。「メールサーバ設定」の項目に true を入力すると、N2 Portal が利用するメールサーバの設定が行えます。

6.7 メールサーバーの指定

N2 Portal で利用するメールサーバーを指定します。「メールサーバ名」の項目にメールサーバー名を指定します。メールサーバーがユーザー認証を利用している場合には、ユーザー名とパスワードを入力した

上で、「ユーザ認証」の項目で true を選択します。

```
-----  
Mail Server Configuration  
-----  
  
適切なメールサーバ情報を入力してください。デフォルト値でも動作します。  
メールサーバ名 [default:localhost]  
  
ユーザ名 [default:null]  
  
パスワード [default:null]  
  
ユーザ認証 [default:false]
```

Enter キーを押下します。

6.8 データベースの選択

利用するデータベースを指定します。デフォルトの DB を利用する場合は、Derby を選択してください。Derby 以外のデータベースを利用する場合は、「CLI インストールの DB 設定」を参照してください。

```
-----  
Database Selection  
-----  
  
ポータル用に利用するデータベースを選択してください。  
データベースの種類  
Enter a number  
1) DB2 (Experimental)  
2) Derby [default]  
3) MS SQL Server (Experimental)  
4) MySQL  
5) PostgreSQL  
6) Oracle (9i 以上)  
7) SapDB (Experimental)  
8) 手動でデータベースのセットアップ
```

Enter キーを押下します。

6.9 インストール前の確認

インストールを実行する前に、インストール先のディレクトリを確認してください。指定されたディレクトリが削除されます。

```
-----  
Before Your Install ...  
-----
```

```
N2 PORTAL をインストールします:  
/Portal
```

Enter キーを押下します。

6.10 インストールの実行

Enter キーを押下するとインストールが実行されます。なお、GUI インストールとは異なり、インストール時のログは必ず表示されます。

```
-----  
Installation Progress  
-----  
  
antinstaller.jar/root/N2Portal-1.1-installer.jar  
  
install.tomcat:  
  [echo] Installing Tomcat  
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal  
  [unzip] Expanding: /Portal/tomcat.zip into /Portal  
  
install.portal:  
  [echo] Installing Portal  
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal  
  [unzip] Expanding: /Portal/database.zip into /Portal  
  [unzip] Expanding: /Portal/portal.zip into /Portal  
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal  
  [unzip] Expanding: /Portal/portlets.zip into /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/deploy  
  [echo] Setting up the database configuration  
  [copy] Copying 1 file to /Portal/shared/lib  
  [move] Moving 1 file to /Portal/database  
  [echo] Setting up the Jetspeed database (if selected)  
  
setupDBPSML:  
  [copy] Copying 1 file to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly/alternate  
  
checkDerby:  
  
generateStandardDB:  
  
generateDerbyDB:  
  
sqlDerbyDB:  
  [echo] Excuting file: /Portal/database/derby/phase1-schema.sql  
  
sqlDerbyDB:  
  [echo] Excuting file: /Portal/database/derby/phase2-schema.sql  
  
sqlDerbyDB:  
  [echo] Excuting file: /Portal/database/derby/phase3ojb-schema.sql
```

```
sqlDerbyDB:
  [echo] Executing file: /Portal/database/derby/prefs-schema.sql

sqlDerbyDB:
  [echo] Executing file: /Portal/database/derby/registry-schema.sql

sqlDerbyDB:
  [echo] Executing file: /Portal/database/derby/security-schema.sql

seedDB:
  [mkdir] Created dir: /Portal/database/assembly
  [echo] Seeding the database
  [copy] Copying 12 files to /Portal/database/assembly
  [copy] Copying 4 files to /Portal/database/assembly
  [mkdir] Created dir: /Portal/database/assembly/boot
  [copy] Copying 1 file to /Portal/database/assembly/boot
  [java] log4j:WARN No appenders could be found for logger (org.apache.jetspeed.serializer.JetspeedSerializerApplication).
  [java] log4j:WARN Please initialize the log4j system properly.
  [java] ++++ PREFS:PA loaded 0 pref nodes for app /portlet\_application/pal-admin/ in 1149 milliseconds.

copyJetspeedContext:
  [copy] Copying 1 file to /Portal/conf/Catalina/localhost

test-import-psml:

db-psml:
  [mkdir] Created dir: /Portal/database/import/target/classes
  [echo] Import dir: /Portal/database/import
  [copy] Copying 12 files to /Portal/database/import/target/classes

execute-import:
  [copy] Copying 1 file to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly
  [copy] Copying 1 file to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly

fs-psml:

do-psml:

runSetupDB:

install.tomcat.config:
  [echo] Installing Portal Configuration for Tomcat
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal
  [unzip] Expanding: /Portal/tomcat-config.zip into /Portal
  [echo] Copying index.jsp
  [copy] Copying 1 file to /Portal/webapps/ROOT
  [delete] Deleting: /Portal/temp/index.jsp

mailServerConfiguration:
  [echo] starting Mail server configuration
  [copy] Copying 1 file to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly
  [delete] Deleting: /Portal/temp/administration.xml
  [echo] Mail server configuration done!
```

6.11 インストールの完了

インストールが完了すると、以下のメッセージが表示されます。

```
BUILD SUCCESSFUL  
Total time: 1 minute 0 seconds  
完了しました。
```

インストールに失敗した場合は、ログでエラー内容を確認してください。
自動的にインストーラーが終了します。

第7章 CLI によるインストール時の DB 設定

7.1 データベースの選択

デフォルトの Derby 以外のデータベースを利用する場合は、CLI によるインストール手順の「データベースの選択」で利用したいデータベースを選択してください。利用するデータベースは、インストール前に環境構築されている必要があります。インストールプロセスの中で、データベース内にテーブルや必要な情報が挿入されます。

```
-----  
Database Selection  
-----
```

ポータル用に利用するデータベースを選択してください。
データベースの種類

```
Enter a number  
1) DB2 (Experimental)  
2) Derby [default]  
3) MS SQL Server (Experimental)  
4) MySQL  
5) PostgreSQL  
6) Oracle (9i 以上)  
7) SapDB (Experimental)  
8) 手動でデータベースのセットアップ
```

今回は、MySQL を例に進めていきますので、「4」を入力して、Enter キーを押下します。

7.2 データベースのパラメータ設定

利用するデータベースのパラメータを設定します。(以下のパラメータは一例です)

```
-----  
MySQL Database Connection Parameters  
-----
```

MySQL データベースに接続するために以下のフィールドに入力してください。

データベースユーザ名 [default:]

n2portal

データベースパスワード [default:]

password

JDBC 接続文字列 [default:jdbc:mysql://localhost:3306/[dbname]]

jdbc:mysql://localhost:3306/n2portal

JDBC ドライバクラス名 [default:com.mysql.jdbc.Driver]

com.mysql.jdbc.Driver

JDBC ドライバ [default:/root/mysql-connector-java-5.0.4.jar]

mysql-connector-java-5.1.6-bin.jar

「データベースユーザ名」と「データベースパスワード」はデータベースにアクセスするためのユーザ名とパスワードになります。「JDBC 接続文字列」はデータベースへのアクセスするパスになります。「JDBC ドライバクラス名」と「JDBC ドライバ」は利用するデータベースのドキュメントを参照してください。

各項目に対してパラメータを入力後、Enter キーを押下します。

7.3 設定パラメータの確認

設定した DB パラメータの確認をします。

Enter キーを押下してください。設定が正しくない場合はエラーが表示されるので、再度、設定したパラメータを確認してください。データベースに正常に接続できた場合は、CLIによるインストール手順の「インストール前の確認」を参照してください。

第8章 N2 Portal の起動と停止の手順

8.1 N2 Collabo の DB 起動

N2 Portal は、N2 Collabo が組み込まれているため、それらが利用するデータベースを別途起動しておく必要があります。端末エミュレータ (Windows の場合は DOS 窓) 上で

```
(Unix 系 OS の場合)
$ sh [インストール場所]/database/bin/run.sh
(Windows の場合)
> [インストール場所]¥database¥bin¥run.bat
```

を実行し、N2 Collabo の DB を起動してからポータルを起動してください。N2 Portal を再起動する場合、N2 Collabo の DB は特に必要がなければ同時に再起動などする必要はありません。N2 Collabo の DB を終了するときは、プロセスを kill や DOS 窓を閉じるなどで終了させてください。

8.2 N2 Portal の起動

端末エミュレータ (Windows の場合は DOS 窓) 上で

```
(Unix 系 OS の場合)
$ [インストール場所]/bin/startup.sh
(Windows の場合)
> [インストール場所]¥bin¥startup.bat
```

を実行して、N2 Portal を起動してください。起動後、<http://localhost:8080/> にアクセスして、N2 Portal のトップページが表示されることを確認してください。

デフォルトで、登録されている管理者は、ユーザー名 admin、パスワード admin です。

admin ユーザーでログイン後、新規に一般ユーザーを作る場合は、ロールに user を必ずあたえるようにしてください。user ロールを持たないユーザーは、ルートを参照するプロファイリングルールが適用され、期待どおりのページが表示されません。

8.3 N2 Portal の停止

端末エミュレータ (Windows の場合は DOS 窓) 上で



図 8.1: N2 Portal のトップページ

(Unix 系 OS の場合)

```
$ [インストール場所]/bin/shutdown.sh
```

(Windows の場合)

```
> [インストール場所]binshutdown.bat
```

を実行ください。

第9章 Unix系OSでのアンインストール

9.1 アンインストール

N2 Portal のアンインストールは、インストールしたディレクトリを削除するだけで完了します。端末エミュレータ上で

```
$ rm -rf [インストール場所]
```

を実行してください。

第10章 Windows系OSでのアンインストール

10.1 アンインストール

N2 Portal のアンインストールは、インストールしたディレクトリを削除するだけで完了します。DOS 窓上などで

```
> rmdir [インストール場所]
```

を実行してください。

第11章 GUIによるアップグレード

11.1 GUIによるアップグレードインストール

N2 Portal は、Unix(Linux を含む) または Windows の OS 上でグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) によるアップグレードインストールをサポートしています。この章では、GUI によるアップグレードインストール手順について説明しています。アップグレードインストールを行うことにより、既存の N2 Portal のデータを更新することができます。GUI によるアップグレードインストールを行うためには、Unix の場合は X Window システムが利用できる状態になっている必要があります。

11.2 アップグレードインストールの前に

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーは、Java SDK(1.5.x 以上)が必要になります。<http://java.sun.com/> にアクセスして、Java SDK を取得してください。Java SDK のインストール手順については、<http://java.sun.com/> にあるインストール手順にしたがってください。

N2 Portal および N2 Portal のインストーラーを実行するためには、環境変数に JAVA_HOME が設定されている必要があるので、設定されていることを確認してください。Unix 系 OS で環境変数 JAVA_HOME を設定するためには、

```
例 (bash を利用の場合):  
$ export JAVA_HOME=/usr/java/jdk1.5.0_11/
```

を実行します。

第12章 GUIによるアップグレードインストール手順

12.1 N2Portal-install-[version].jar のダウンロード

<http://software.n2sm.co.jp>から N2 Portal のインストーラー (jar ファイル) をダウンロードしてください。インストーラーのファイル名は、N2Portal-install-[version].jar になります ([version] は N2 Portal のバージョンです)。

12.2 インストーラの実行

端末エミュレータ (Windows の場合は DOS 窓) 上で

```
(Unix 系 OS の場合)
$ java -jar N2Portal-install-[version].jar
(Windows の場合)
> java -jar N2Portal-install-[version].jar
```

を実行します (java コマンドが含まれるディレクトリは、環境変数 PATH で指定されている必要があります)。実行するとインストーラーが起動します。



図 12.1: インストーラの起動

「次へ」ボタンをクリックします。

12.3 ライセンスの確認

ライセンスを確認します。

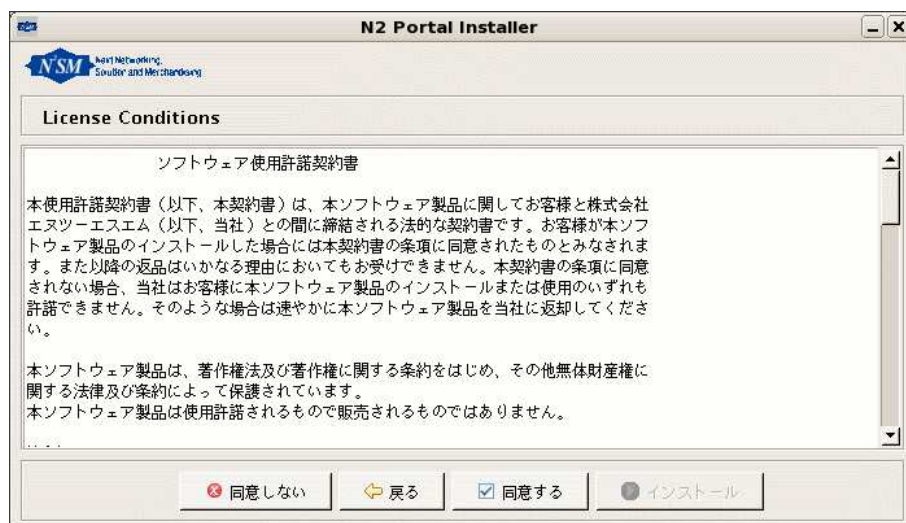


図 12.2: ライセンスの確認

ライセンスに同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。同意できない場合は、「同意しない」ボタンをクリックして、インストールを終了してください。

12.4 インストール方法の選択

インストール方法を選択します。新規にインストールする場合は「新規インストール」を選択します。アップグレードインストールする場合は「アップグレードインストール」を選択します。

「アップグレードインストール」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

12.5 インストール場所の選択

インストールする場所を選択してください。テキストフィールド欄にインストールするパスを入力するか、「フォルダの選択」ボタンをクリックして、インストールする場所を指定します。

「次へ」ボタンをクリックします。

12.6 インストールするコンポーネントの確認

インストールされるコンポーネントの一覧が表示されます。

「ポータルコンテキスト名」には、インストールされているポータルのコンテキスト名を入力してください。「ポートレット」を選択すると、管理用ポートレットなどが更新されます。「PSML ファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/WEB-INF/pages 以下の PSML ファイルが更新されません。「設定ファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/WEB-INF/conf 以下の

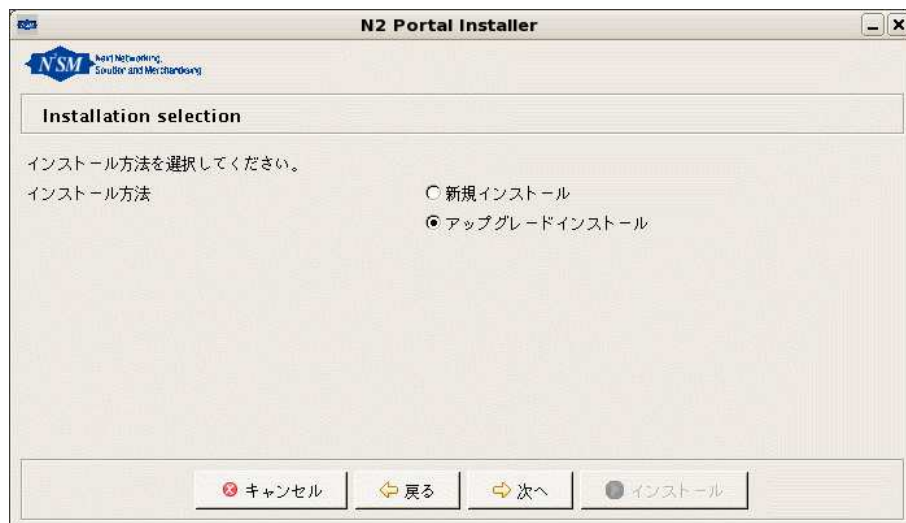


図 12.3: インストール方法の選択

ファイルが更新されません。「コンポーネントファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/WEB-INF/assembly 以下のファイルが更新されません。「デコレータを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/decorations 以下のファイルが更新されません。コンポーネントを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

12.7 インストール前の確認

アップグレードインストールを実行する前に、インストール先のディレクトリを確認してください。「次へ」ボタンをクリックします。

12.8 インストールの実行

「インストール」ボタンをクリックするとアップグレードインストールが実行されます。「詳細の表示」ボタンをクリックすると、アップグレードインストール時のログを確認することができます。

「インストール」ボタンをクリックします。

12.9 インストールの完了

インストールが完了すると、「完了しました。」というメッセージが表示されます。

インストールに失敗した場合は、ログでエラー内容を確認してください。

「終了」ボタンを押下してインストーラーを終了します。



図 12.4: インストール場所の選択



図 12.5: コンポーネント一覧



図 12.6: インストール前の確認



図 12.7: アップグレードインストール



図 12.8: アップグレード中の画面



図 12.9: アップグレード完了メッセージ



図 12.10: アップグレードの完了

第13章 CLIによるアップグレードインストール

13.1 Unix(Linuxを含む)のOS上における、CLIによるアップグレードインストール

N2 Portalは、Unix(Linuxを含む)のOS上でコマンドラインインターフェース (CLI) によるアップグレードインストールをサポートしています。この章では、CLIによるアップグレードインストール手順について説明しています。

13.2 WindowsのOS上における、CLIによるアップグレードインストール

なお、WindowsのOS上でコマンドラインインターフェース (CLI) によるアップグレードインストールはサポートしていません。グラフィカルユーザーインターフェースによるアップグレードインストールをご利用ください。

13.3 アップグレードインストールの前に

N2 PortalおよびN2 Portalのインストーラーは、Java SDK(1.5.x以上)が必要になります。<http://java.sun.com/>にアクセスして、Java SDKを取得してください。Java SDKのアップグレードインストール手順については、<http://java.sun.com/>にあるアップグレードインストール手順にしたがってください。

N2 PortalおよびN2 Portalのインストーラーを実行するためには、環境変数にJAVA_HOMEが設定されている必要があるため、設定されていることを確認してください。Unix系OSで環境変数JAVA_HOMEを設定するためには、

```
例 (bash を利用の場合):  
$ export JAVA_HOME=/usr/java/jdk1.5.0_16/
```

を実行します。

第14章 GUIによるアップグレードインストール手順

14.1 N2Portal-[version]-installer.jar のダウンロード

<http://software.n2sm.co.jp>から N2 Portal のインストーラー (jar ファイル) をダウンロードしてください。インストーラーのファイル名は、N2Portal-install-[version].jar になります ([version] は N2 Portal のバージョンです)。

14.2 インストーラの実行

コマンドライン上で

```
$ java -jar N2Portal-[version]-installer.jar
```

を実行します (java コマンドが含まれるディレクトリは、環境変数 PATH で指定されている必要があります)。実行するとインストーラーが起動します。

(なお、ここから先の表示は日本語が表示できる環境を想定して記述されています)

```
-----  
Welcome to the N2 Portal  
-----
```

このインストーラで N2 Portal をセットアップします。

Press enter to view the license agreement

Enter キーを押下します。

14.3 ライセンスの確認

ライセンスを確認します。

```
-----  
License Conditions  
-----
```

```
                Apache License  
                Version 2.0, January 2004  
                http://www.apache.org/licenses/
```

```
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION
```

```
(中略)
```

```
Copyright 2004 The Apache Software Foundation
```

```
-----  
Do you accept the license? Y or N  [default:Y]
```

ライセンスに同意する場合は、Enter キーを押下します。同意できない場合は、「N」を入力した上で Enter キーを押下して、インストールを終了してください。

14.4 インストール方法の選択

インストール方法を選択します。新規にインストールする場合は「新規インストール」を選択します。アップグレードインストールする場合は「アップグレードインストール」を選択します。

```
-----  
Installation selection  
-----
```

インストール方法を選択してください。

インストール方法

Enter a number

- 1) 新規インストール [default]
- 2) アップグレードインストール

「2」を入力して、Enter キーを押下してください。

14.5 インストール場所の選択

インストールする場所を選択してください。インストールするパスを入力して、インストールする場所を指定します。

```
-----
Installation Location
-----
```

インストール先のディレクトリを選択してください。 [default:/root/Portal]
/Portal

注意: WINDOWS では、スペースを含めないでください。

Enter キーを押下します。

14.6 インストールするコンポーネントの確認

インストールされるコンポーネントの一覧が表示されます。

```
-----
Components Selection
-----
```

```
N2 PORTAL
ポータルコンテキスト名 [default:n2portal]

Install the following component?
N2 Portal [default:true] [required]

Install the following component?
ポートレット [default:true]

Install the following component?
PSML ファイルを更新しない [default:true]

Install the following component?
設定ファイルを更新しない [default:true]

Install the following component?
コンポーネントファイルを更新しない [default:true]

Install the following component?
デコレータファイルを更新しない [default:true]

Install the following component?
クリーンアップ [default:true] [required]
```

各項目ごとに true もしくは false を入力し、Enter キーを押下して、コンポーネントを選択します。「ポータルコンテキスト名」には、インストールされているポータルのコンテキスト名を入力してください。「ポートレット」を選択すると、管理用ポートレットなどが更新されます。「PSML ファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/WEB-INF/pages 以下の PSML ファイルが更新されません。「設定ファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/WEB-INF/conf 以下のファイルが更新されません。「コンポーネントファイルを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト

名]/WEB-INF/assembly 以下のファイルが更新されません。「デコレータを更新しない」を選択すると、[ポータルコンテキスト名]/decorations 以下のファイルが更新されません。

14.7 アップグレード前の確認

アップグレードを実行する前に、インストール先のディレクトリを確認してください。指定されたディレクトリが削除されます。

```
-----  
Before Your Upgrade...  
-----
```

```
N2 PORTAL をアップグレードします:  
/Portal
```

Enter キーを押下します。

14.8 インストールの実行

Enter キーを押下するとアップグレードが実行されます。なお、GUI インストールとは異なり、インストール時のログは必ず表示されます。

```
-----
Installation Progress
-----

antinstaller.jar/root/N2Portal-1.1-installer.jar

upgrade.portal:
  [echo] Upgrade Portal
  [mkdir] Created dir: /Portal/temp/upgrade-portal
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal/temp/upgrade-portal
  [unzip] Expanding: /Portal/temp/upgrade-portal/portal.zip into /Portal/temp/upgrade-portal
  [copy] Copying 5 files to /Portal/shared/lib
  [move] Moving 27 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/pages.orig
  [move] Moving 11 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/conf.orig
  [move] Moving 53 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly.orig
  [move] Moving 227 files to /Portal/webapps/n2portal/decorations.orig
  [copy] Copying 382 files to /Portal/webapps/n2portal

upgrade.portlets:
  [unzip] Expanding: /root/N2Portal-1.1-installer.jar into /Portal
  [unzip] Expanding: /Portal/portlets.zip into /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/deploy

use.old.pages:
  [delete] Deleting directory /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/pages
  [move] Moving 27 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/pages

use.old.conf:
  [delete] Deleting directory /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/conf
  [move] Moving 11 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/conf

use.old.assembly:
  [delete] Deleting directory /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly
  [move] Moving 53 files to /Portal/webapps/n2portal/WEB-INF/assembly

use.old.decorations:
  [delete] Deleting directory /Portal/webapps/n2portal/decorations
  [move] Moving 227 files to /Portal/webapps/n2portal/decorations

clean.up.upgrade:
  [delete] Deleting directory /Portal/temp/upgrade-portal
```

14.9 インストールの完了

インストールが完了すると、以下のメッセージが表示されます。

```
BUILD SUCCESSFUL
Total time: 6 seconds
完了しました。
```

インストールに失敗した場合は、ログでエラー内容を確認してください。
インストーラーは自動的に終了します。

第15章 データベースの設定について MySQL

15.1 MySQLでの設定

MySQL をデータベースとして利用する場合、MySQL の設定ファイル `/etc/my.conf` に文字集合を指定する必要があります。設定内容は以下のように `default-character-set` で指定します。

```
[mysqld]
datadir=/var/lib/mysql
socket=/var/lib/mysql/mysql.sock
# Default to using old password format for compatibility with mysql 3.x
# clients (those using the mysqlclient10 compatibility package).
old_passwords=1
default-character-set=utf8

[mysql.server]
user=mysql
basedir=/var/lib

[mysqld_safe]
log-error=/var/log/mysqld.log
pid-file=/var/run/mysqld/mysqld.pid

[client]
default-character-set=utf8

[mysql]
default-character-set=utf8

[mysqldump]
default-character-set=utf8
```